

## 「レクリエーション研究」投稿規定

1. 投稿者は原則として本会会員であること。
2. 論文は他誌に未投稿のものに限る。
3. 論文は新かなづかい、制限漢字使用を原則とし、横書き400字詰原稿用紙を使用する。欧文はタイプライターによるか、または特に明瞭にかく。
4. 論文はカシラに論文・資料・その他（書評・抄録・学校紹介等）を朱書する。
5. 論文・資料の原稿にはかならず欧文の表題・ローマ字書きフルネームの氏名および図版・写真の欧文説明をつける。
6. 邦文論文には欧文摘要（Resume）をつけ、欧文論文には和文の表題・氏名および800字以内の邦文摘要をつけること。
7. 図版はかならず白紙に墨書きとし、図版・写真類は上下の別を明記のこと。
8. 論文の原稿には第1頁下端に勤務先（職名）を記すこと。
9. 論文は1篇につき400字詰にて30枚分（図版・写真共、刷り上り8頁）以内を原則とする。その他の原稿は5枚以内とする。若し長篇のもので上記規定を超えるものについては、投稿に先立ち編集委員会宛打合せのこと。なお刷り上り5頁以上の超過分は実費にて執筆者持ちとする。
10. 編集委員会は編集の都合により、執筆者の承諾を得て、原稿の一部を省略・訂正することができる。
11. 論文の取捨は編集委員会に一任のこと。
12. 投稿期限 第3号 原稿〆切日 昭和40年1月末日（予定）
13. 論文の送り先及び連絡先 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内  
(財)日本レクリエーション協会気付  
日本レクリエーション学会 編集部

### ☆ 編集後記

学会誕生以来一年三か月。そろそろ基礎固めを終えて、充実期にはいたいものである。レクリエーションというテーマは、さまざまな学問領域にわたっている。諸科学の成果がレクリエーションという一点に凝集し、そこに新たな学問の核が生まれてほしい。そのため、多くの研究者が二歩も三歩もつっこんだ討議をたたかわせる必要がある。二年目の学会にStrum und Drankを期待しつつ。

### ☆ 編集委員

象野 豊, 出口一重, 木下静子, 浅田隆夫,  
巻 正平, 前野淳一郎, 田村喜代  
(担当幹事) 小田切毅一 藪田碩哉

### レクリエーション研究 第2号

昭和47年7月10日 発行

編集発行人 江 橋 慎四郎

発行所 日本レクリエーション学会

東京都渋谷区神南1の1の1

岸記念体育会館

(財)日本レクリエーション協会内

電話 (03) 468-4381

印刷 富士見印刷